



報告

関西で日本語を学ぶ

国際交流基金関西国際センター紹介

関西国際センター (The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai) の概要については、

『日本語教育通信』第26号で紹介しましたが、今回は関西国際センターの研修内容を中心に紹介します。

関西国際センターは昨年1月、関西国際空港の対岸、りんくうタウン (大阪府田尻町) に開設されました。

日本語国際センター (埼玉県浦和市) と同じく、宿泊設備をもつ日本語研修のための施設です。日本語国際センターでは海外の日本語教師を対象とする研修を行っていますが、関西国際センターでは日本語教師以外の職業人や研究者等を対象とした「専門日本語研修」と一般の日本語学習者を対象とする「日本語学習奨励研修」を行っています。

研修プログラム

「専門日本語研修」「日本語学習奨励研修」には、次のような研修プログラムがあります(かっこ内は研修期間)。

専門日本語研修 program for specialists

- 外交官日本語研修 (9カ月)
- 公務員日本語研修 (9カ月)
- 司書日本語研修 (6カ月)
- 研究者日本語研修 (9カ月)
- 大学院生日本語研修 (2カ月または4カ月)

日本語学習奨励研修 program for students

- 日本語成績優秀者研修 (2週間)
- 日本語履修大学生訪日研修 (1~2カ月)

なお、印の3研修は'97年まで浦和のセンターで実施していたプログラムです。

研修参加者は職業もさまざま、日本語の学習目的や使用ニーズも異なります。センターでは以下の基本方針にもとづき各研修のカリキュラムを作成しています。

- 学習者中心の言語教育
 - 専門に応じた日本語カリキュラム
 - 個別対応・個別学習重視
 - 自律的学習方法修得の重視
 - 施設外の実社会を学習の場とする言語学習
- 本稿では、関西国際センターで新しく開始した三つの研修について以下で詳しく紹介します。

公募プログラムの申請方法

関西国際センターで行っている日本語研修のうち、公募のプログラムは、「司書」「研究者」「大学院生」の三

関西国際センター研修プログラム一覧 (新規事業)

1998年3月現在

研修プログラム	対象・人数	募集方法	研修の概要	期間	研修内容	実施期間 (1998年度)
公務員日本語研修	対日関係を専門とする外国政府公務員等(外交官を除く。) 10人	基金海外事務所・在外公館の推薦	外国政府の対日関連部署等において職務上必要な日本語能力を養うとともに、日本社会と文化の知識を深めるための体験、講義等を実施する。	9カ月	日本語(初級~中級) 日本文化社会概論、各論 (日本の政治、日本経済等) 日本の官公庁の視察、体験学習	'98.10~'99.6
研究者日本語研修	海外で日本に関する研究を実施している者(海外の大学の講師、博士課程在籍者、研究所の研究員等。社会科学系分野優先。) 15人	公募	日本語で日本研究をおこなうため専門書や新聞等の読解、テレビ等メディアの理解、レポート等の作成、研究会での発表能力などの日本語能力を養う。日本社会と文化の知識を深めるための体験、講義等を実施する。	9カ月	日本語(中級~上級) 専門分野に関する研修 (日本の大学教官・研究者による講義、討論)	同上
大学院生日本語研修	日本研究を専門とする海外の修士課程大学院生(社会科学系分野優先) 80人 標準コース(2コース) 40人(各コース20人) 夏期コース(1コース) 40人	公募	研究活動に必要な日本語運用能力に焦点を当て、「話す」「読む」「書く」「聞く」の4技能を総合的に扱い、各能力の向上を図る。日本社会と文化の知識を深めるための体験、講義等を実施する。	標準コース 4カ月 2コース 夏期コース 2カ月	日本語(中級) 日本文化社会各論講義 日本社会体験(各地視察)	'98.9~'98.12 '99.2~'99.5 '98.7~'98.8

研修カリキュラム概要

研修参加者国別一覧 1998年3月現在

研修名	主な科目名	内容	時間数	備考
公務員日本語研修 (30週間)	総合日本語	文法・会話・漢字・聴解	280	必修
	ビジネス・コミュニケーション	会話・待遇表現	60	必修
	情報収集技能	聴解・読解・ワープロなど	120	選択
	タスク・ワーク	会話・センター外活動	30	選択
	調査実習	専門職務調査、人脈づくり	30	選択
	学習カウンセリング	個別指導、カウンセリング	30	必修
	文化社会研修	講義、見学、ゼミ	50	選択
		合計	600	
研究者日本語研修 (30週間)	総合日本語	会話・文法・漢字・聴解	366	必修
	学習カウンセリング	個別指導、カウンセリング	30	必修
	個人プロジェクト	研究発表のための調査	56	必修
	分野・個人別読解		63	選択
	日本語補習	文法・漢字・古文・漢文	117	選択
	作文・発表		54	必修
			合計	686
大学院生日本語研修 ・標準コース (12週間)	総合日本語	会話・文法・漢字・聴解	145	必修
	学習カウンセリング	個別指導、カウンセリング	15	必修
	文化社会研修	講義、見学	45	必修
	個人プロジェクト	論文作成のための調査	35	必修
		合計	240	
大学院生日本語研修 ・夏期コース (7週間)	総合日本語	会話・文法・漢字・聴解	100	必修
	発表のための日本語	研究発表のための調査	20	必修
	学習カウンセリング	個別指導、カウンセリング	10	必修
	文化社会研修	講義、見学	20	必修
		合計	150	

国名	公務員	研究者	大学院生	合計
韓国	1	3	11	15
中国	0	3	11	14
(香港)	0	0	3	3
モンゴル	1	0	0	1
インドネシア	0	0	4	4
タイ	1	0	1	2
フィリピン	0	0	1	1
ベトナム	0	2	5	7
マレーシア	0	0	1	1
ラオス	1	0	0	1
インド	0	0	5	5
スリランカ	0	0	1	1
ネパール	0	1	0	1
オーストラリア	0	0	1	1
ニュージーランド	1	0	0	1
カナダ	0	0	3	3
米国	0	0	3	3
ブラジル	0	2	2	4
オーストリア	0	0	1	1
スペイン	1	0	0	1
デンマーク	0	0	1	1
ドイツ	0	0	1	1
ウクライナ	0	0	1	1
ウズベキスタン	0	0	1	1
チェコ	0	0	1	1
ハンガリー	0	0	1	1
ブルガリア	0	0	1	1
ベラルーシ	0	1	0	1
ユーゴスラヴィア	0	0	1	1
リトアニア	0	1	0	1
ロシア	1	0	2	3
イエメン	1	0	0	1
イスラエル	0	0	1	1
エジプト	0	0	1	1
マダガスカル	0	0	1	1
トンガ	1	0	0	1
合計	9	13	66	88

種類です。

各研修プログラムに共通の申請用紙は、国際交流基金の海外事務所または在外公館（日本大使館、総領事館）で入手できます。申請用紙に添付されている説明書にしたがって必要事項を記入し、12月1日(例年)までに国際交流基金海外事務所または在外公館に提出してください。

課外プログラム

研修の目的は、日本語の習得だけではありません。日本人と交流したり、日本の生活に触れること、そして日本の文化や社会を理解することが大切です。センターの内外でのさまざまな出会いを関西国際センターでは工夫をしています。そ



行啓：昨年11月には、皇太子ご視察になられました(上) 和服でお迎えする研修参加者の皆さん(右)

内外でのさまざまな出会いを関西国際センターでは工夫をしています。そ



の一例として、本年1月15日の成人の日に行われた「ふれあい交流祭」を紹介します。

このイベントは、関西国際センター研修生支援協議会が主催しました。この協議会は、研修参加者と地元の人々との交流を促進しようという目的で地元の方々の努力と熱意で設立された団体です。この日、地元のみなさんがもちつきや折り紙、茶道、日本舞踊などを研修参加者に紹介する一方、研修参加者は来訪の日本人に対し館内を案内したり、自国の文化を写真やビデオを使って紹介したりしました。また、年末のホームステイの際に撮影した写真をもとに研修参加者が企画した展示会も開催しました。当日は、自分達が撮った日本の風景やホスト・ファミリーの写真について会場で説明をしました。この交流祭には約800人が参加し、文化紹介を通じて交流を深



ふれあい交流祭 もちつき

めることができました。研修参加者の写真展「私達が見た冬の日本」を含めたこ

のふれあい交流祭の様子は、国際交流基金のホームページで見ることができます。アドレスは<http://www.jpf.go.jp/>です。

日本語能力試験事業

本稿では研修事業を中心に紹介しましたが、日本語能力試験事業を行う試験課が国際交流基金の本部から移り、今年3月から関西国際センターで仕事を始めました。これを機会に、課としての体制を強化し日本語能力試験事業の一層の充実をはかっていきます。

業の一層の充実をはかっていきます。

関西国際センターの連絡先

住所 〒598 0093

大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北3 14

Tel. 0724 90 2600

Fax .0724 90 2801

● ● ● 研修参加者の一日 ● ● ●



授業風景

ここで、ある研修参加者の1日を紹介しましょう。大学院生のハナ・ゾパロヴァーさんは、チェコのカレル大学東アジア地域研究所に所属しています。2月12日に来日してから5週間がたち、センターでの生活にもすっかり慣れたようです。

授業は月曜日から金曜日まで毎日あります。今日は月曜日。一週間の始まりです。授業は9時からです。1時間目のホームルームの後、今日は「日本語中級」クラスが2時間。

「文法のクラスで、新しい言葉がたくさんありました。難しい文章がでてくると、だいたいの内容はつかめても



カフェテリアで昼食

具体的に何が書いてあるのかわからなくなります。」とハナさん（以下太字部分はハナさんの発言です）。10時から10時50分、11時から11時50分と2時間の授業を受けた後、カフェテリアで昼食を食べます。ハナさんは日本の食べ物が好きです。

午後は1時20分からまた授業です。

「今日は読む練習をするクラスで、日本のテーブルマナー『正しいお箸の使い方』について読みました。」

授業は3時10分に終わります。授業の後には「勉強したり、近くのデパートへ買い物に行ったりします。料理を作るのが好きなので、その買い物をしに行きます。・・・でも今日は、部屋で勉強です。」

夕食は食堂で食べたり、センターの自炊室で自分で作ったりします。このあいだはチェコ料理を作ったそうです。

「食事の後は勉強したり手紙を書いたりします。夜寝るのはあまり早くなく、昨夜は夜中の2時ごろにベッドに入りました。今日は少し疲れたので早く寝ると思います。」

お疲れさま。明日も勉強がんばってください。



自室で勉強中

研修参加者インタビュー

けん しゅう さん か しゃ



イ・フンジェさん(韓国)

研究者 韓国文化政策開発院所属
けんきゅうしゃ かんこくぶんか せいざくかいぱんいんしよぞく

●ではまず、イさんの研究テーマについて教えてください。

文化政策、特に、政府の文化政策についてです。いま、日本の地方文化振興支援政策を研究しています。特別に大阪を中心にしています。

●センターでの研修生活は、いかがですか？

私は日本語の勉強だけでなく、日本の特徴ある社会とか日本文化とかいろいろなものに興味があります。センターは市内から遠いのでちょっと不便ですけど、土曜日、日曜日には積極的にあちこちに行きます。

●まず、マナールさんの研究テーマについて教えてください。

日本の現代文学。特に日本の現代文学の女性作家の作品を通して現代の日本人女性像を研究しています。

●センターでの生活について。宿泊しながら毎日勉強するのはどうですか？

まあ、人によって違いますけど、私は今まで1カ月ぐらい滞在していて、とても楽しい。それはやっぱりいい友達がたくさんできたり、先生も親切な方ばかりだから、ホームシックにはなっていません。

●授業はどうですか。むずかしいですか？

そうですね、大学院生はプレースメントテストをしましたが、これをしていないとだめだと思います。やっぱり日本語のレベルが全然違いますから、3つのクラスに分けて。今まで習っていないところを勉強しているところですが、新しいことだからやっぱりむずかしい。でも、先生の説明を聞いて自分で勉強すれば大丈夫。

ています。でも、勉強のためにはここもいいです。特別に景色がきれいですから。空も市内よりきれいだし、いいところだと思います。

●毎日の授業について。大変ですか？

始めは率直にいうと大変でした。けれどもどんどん適応して、今はほんとに楽しみに勉強することができます。また、敬語を使うことはむずかしいです。漢字は意味は90%以上わかれますけど、発音は韓国と違いますからむずかしい。新しい単語は前に勉強した言葉を考えてながら少しずつ発音することができるようになりました。

●授業以外に日本語の勉強として何かしていることはありますか。たとえば本を読んだりとか。

もちろんです。私のテキストの順番にそって副教材みたいに選んで読んでいます。それから、会話の練習のために公民館とかいろいろなところで日本人達と

●授業以外に日本語の勉強を自分でしていますか？

図書館に行って、小説を借りたけど、読む時間が全然ないんです。でも時間があれば小説とかいろいろ読みたい。

●勉強以外には何か特にしてありますか？

授業が終わってから、いつも友達といっしょに自転車で散歩したりデパートまで行ったり、アイスクリームを食べに行ったりしています。そういうことが楽しいです。

●この研修の後、エジプトに帰ってから何をやるか決まっていますか？

エジプトに帰ったらそろそろ修士論文を書かなければなりません。テーマは、日本の現代文学です。

●この研修をどういうふうに自分の研究につなげていますか？

そうですね、毎週金曜にカウンセリングがあります。図書館で自分の専門の本や辞典で研究をしています。いろいろな資料を集めたり、暇な時間があったら論文を

話をします。公民館でのスピーチにも参加して、日本の環境教育の実態について話しました。この時は田尻町の小学校にアンケート調査をして、それをもとにスピーチしました。

●この研修は6月までですね。その後の予定は？

韓国文化政策開発院に戻ります。日本語はまだまだですから、帰国後も衛星放送を使って日本語の勉強を続けたいと思います。この研修に来るまでは、自分で本を読むだけしか勉強できませんでしたから、日本語を聞くとか話すとかは今からですね。本格的に勉強していく出発点にしたいと思います。

●最後に日本の印象は？

大阪は印象的でした。大阪の文化は歴史もあるし、日本らしい特徴があったと思います。好きな所は国立民族学博物館。美術館にも何回も行きたいですね。



マナール・エツァト・イブラーヒムさん(エジプト)

大学院生 カイロ大学文学部 日本語日文学科所属
だいがくいんせい たいがいのんがくぶ にほんご にほんがくかく かじよぞく

ちょっと書いたりしています。ま、日本語だけじゃないけど。

●センターの図書館の方が日本語の資料は集めやすいですか？

集めやすいですよ。もしセンターの図書館になければ、司書の人に聞いて調べてコピーをとったり、違う図書館に連絡をしたり、そういうこともできますから。

●最後に日本の印象を教えてください。

私、日本大好きです。とても暮らしやすい国ですね。センターのまわりは何もないと言っている人もいますが、私はセンターのあるところが大好きですね。静かだし、勉強にとってもいいところ。とにかく私は日本が大好きです。